

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金

活動報告会

- ◆開催日 令和3年4月24日(土)
- ◆会場 ひらつか市民活動センター

目次

- スケジュール…………… P1
- 報告団体一覧…………… P2
- 入門コース 補助金報告書(2団体)…………… P3~12
- 発展コース 補助金報告書(5団体)…………… P13~37
- 審査委員紹介…………… P38

活動報告会スケジュール

●開催日：令和3年4月24日(土)

●会場：ひらつか市民活動センター

時間	内容
13:30	審査会打合せ ・当日の進行と役割分担の説明等
14:00	活動報告会開会
14:05	活動報告会 ・団体による報告3分、審査委員との質疑3分、審査委員から講評2分 【入門コース】 ①14:05～ ひばり野のなかま達 ②14:20～ ママぎゅっと 【発展コース】 ③14:35～ 湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会 ④14:50～ 安心・安全を考える会 ⑤15:20～ NPO法人 暮らし・つながる森里川海 ⑥15:35～ 子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋 ⑦15:50～ 八幡郷土史編纂委員会
16:15	審査会打合せ ・感想等について協議
16:30	閉会

報告団体一覧

●入門コース(2団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	ひばり野のなかま達	こどもへの学習支援・遊び場(居場所)介護予防、講演	8万	3
2	ママぎゅっと	デリケートなテーマを学ぶ「ママスク」	10万	8
		合計	18万	

●発展コース(5団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会	吉沢八景活用事業～トンボの里づくり～	45万	13
2	安心・安全を考える会	レッツ防災119&レッツ防犯110	21万	19
3	NPO法人 暮らし・つながる森里川海	馬入水辺の楽校の利活用促進事業	40万	24
4	子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋	子どものための学習支援教室	28万	30
5	八幡郷土史編纂委員会	八幡郷土史集大成本の完成	16万	34
		合計	150万	

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	ひばり野のなかま達	
2 事業名	子どもへの学習支援・遊び場（居場所）介護予防、講演	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ 発展コース	8 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和2年4月1日 ~ (完了期日) 令和3年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>子どもや高齢者を取り巻く環境は、様々なニーズを抱え、虐待、ネグレクト等、様々な課題がクローズアップされている。そこで、学習支援・遊び場では、就労している親が、身近で安心して預けられる場所を作り、異世代との交流を持つことにより、互いの存在価値を高め、生き甲斐に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駄菓子屋では、高齢者の生活を垣間見ることにより、優しさや思いやりを感じ、日常では体験できない事を体験する事により思考の幅を広げたり、心の育成にも繋げる。 ・講演では、専門職により看護・介護・食育などその時々々のニーズに合わせて暮らしに中での疑問や不安に対応していく。 	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援・遊び場：中原小学校児童を中心に、中原公民館に於て、毎月第2・4金曜日に放課後から愛の鐘迄開催。宿題やドリル等支援した後、オヤツタイム。その後フセンバレー、カルタなどで一緒に遊ぶ。親の信頼を受けられるようになると、ひばり幼稚園の年長園児も小学生と共に参加するようになる。令和2年7月からは、子ども食堂の開店に合わせ、毎月第2・4火曜日に変更。毎回20名以上の参加ではあったが、コロナの蔓延により5人程度に減少。コロナ禍では、密になることを避け、輪投げ、ストライク銃壺土に変更。おやつもマスクを外すことがないよう、個包装の物を用意し、持ち帰る様にする。 ・駄菓子屋：毎月第2・4水曜日に開店。コロナの影響により減少。飯島地区には商店が少ない為、毎月第3水曜日のみの開店にする。感染予防の為、入居者の手伝いは中止とする。 ・管理栄養士による、食育セミナーの開催の予定を立てていたが、感染予防の為急遽中止とする。 <p>学習支援 年間12回 開催 62名参加 駄菓子屋 年間12回開店</p>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>感染予防の為、全ての活動の幅が狭まってしまったが、定期的に参加する子供達と顔見知りになり、その一部の親とも信頼関係が出来つつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援では、宿題を持ち寄り、ボランティアの元教師と宿題を片付け、その後遊びに入るといったルーティン化が出来た。 <p>参加する子どもは減少したが、参加する子ども達からは、他の子どもとは遊びにくい、此处では気をつけながら皆と遊べるので楽しみだという声が聞かれた。</p> <p>コロナ禍ではあったが、ちいき・子ども食堂を開店し、同日の開催となったことで、学習支援から、食堂に来てくれる子どもも少しづつ増加。子ども達の居場所や、保護者との交流の時間も持てる様になり、「先生たちと会える日」「お母さんとご飯を食べられる日」等食堂の開店により、制限のある生活の中で小さな楽しみや居場所作りに繋がったと感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駄菓子屋：開店の飯島地区には店舗がほとんどない為、開店日でない日にも来てくれる子どもがいた。感染予防の為、入居者との交流は避けたが、担当のボランティアとの交流が持っていた。
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、活動の縮小が大きく、その状況を今後にかすという工夫が見つけられていない。 ・公民館の利用の要件に、来館した子ども達の連絡先を提出するが、小学校低学年の子どもの一部が、住所や連絡先を書けない為、参加を次回にしたり、参加しなくなってしまう事があった。 ・行事保険には、加入しているが、自己の発生時の責任の問題が浮上した。 ・会場が公民館の為、外での活動がしにくい。 ・まだ、学習支援として学習するという形が出来ていないが、明らかに支援の必要な印象を受ける。楽しみに学習出来るような工夫を凝らしたい。 ・子どもや親が安心して参加出来る様、チラシ等により事業の説明と、参加同意書等を用意し、配布していきたい。
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援・遊び場の参加者の増員を図りたい。 ・学習の復習等の必要な子ども達が、学習に興味をもってくれる様、検討していきたい。 ・学校には開催前に一度説明に行っているが、確実な理解や協力を得られていないので、再度説明と話し合いの機会を設ける。 ・ボランティアの増員を行いたい、コロナ禍でもあり、特に学生等へのボランティア募集に積極的になれなかった。多世代の交流や、福祉への思いの育成等の為、学生ボランティアの活動・理解の場として活動の幅を広げていきたい。

活動・事業の収支決算書

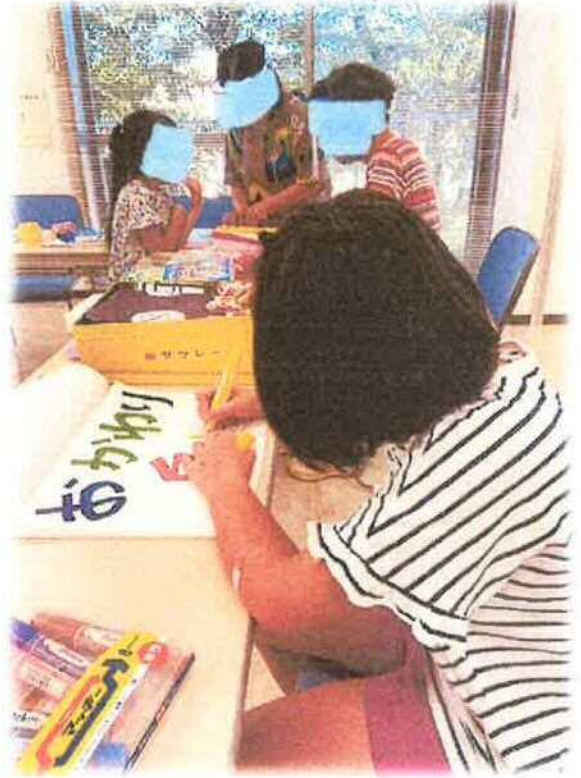
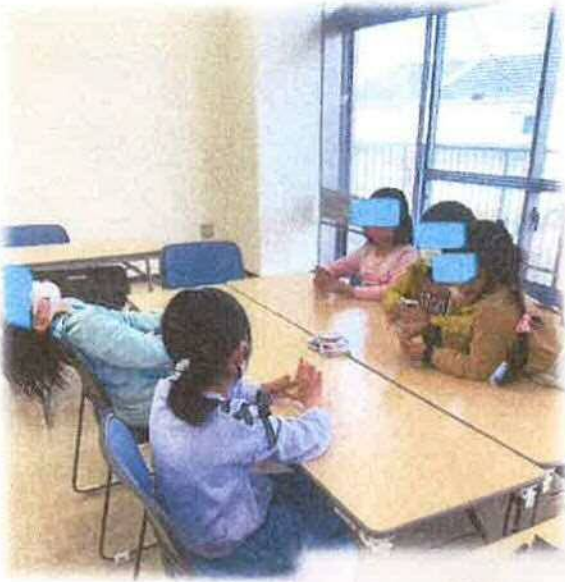
事務局記入欄	発展コース補助割合確認 <input type="checkbox"/>
--------	--------------------------------------

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

収 入	項 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)	
	①	補助金	80,000	80,000	0	平塚市市民活動推進補助金
	寄付金	57,850	10,000	-47,850	活動賛同者からの寄付金10,000円、コロナ蔓延の為活動の縮小	
	事業収益	73,000	15,809	-57,191	駄菓子売上15,232円 公民館まつりバザー(中止)※賛同者による売上を一部充当577円	
	雑収入	0	1	1	銀行利子	
	収入合計	A 210,850	B 105,810	B-A -105,040	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度額 円	
支 出	項 目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
	②	印刷費	35,850 (30,000)	19,200	18,000 (18,000)	-16,650
	物品購入費	65,000 (45,000)	62,754	62,754 (57,000)	-2,246	旗セット9,240、ブラックボード等5,540、消毒液16,270、体温計+パルスオキシメーター6,754、オセロ等7,700、スポンジガン1,497、文具(鉛筆、シール、模造紙等)15,753
	食糧費	104,330 (0)	8,751	0 (0)	-95,579	オヤツ代、麦茶、菓子、駄菓子
	通信運搬費	5,670 (5,000)	5,025	5,025 (5,000)	-645	はがき+切手4,725 駐車場代300
	保険料	0 (0)	10,080	0 (0)	10,080	全社協行事保険10,080 (当初予算への計上外経費)
		()		()		
		()		()		
	支出合計	C 210,850 (80,000)	D 105,810	85,779 (80,000)	D-C -105,040	
③収支決算額					B 105,810円 - D 105,810円 = 0円	【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

学習支援



駄菓子屋



令和2年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	ママぎゅっと	
2 事業名	デリケートなテーマを学ぶ「ママスク」	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ 発展コース	10 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和2年4月1日 ~ (完了期日) 令和3年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>1 平塚市内の子育てのママの悩みを共有し、専門家に相談できる場作りの構築、ママぎゅっとの団体の活動を通じて多くのママから悩み相談を聞いてきた結果、ママ自身の悩みを気軽にシェア出来る相手がないことに気づく。悩みの多様化によってデリケートな話題は余計に話しづらい状況があるため、子育ての悩みやママ自身の悩みを気軽にシェアできる場の必要性を感じているため。</p> <p>2 平塚市内のママと子供の出会いの場作り 悩みを相談する機会が少ないのは、地域の関係性の希薄化や時代の移り変わりのスピードの速さによる母親の情報格差が背景にある。出会う場に自ら行ける親とそうでない親の落差も激しい。そんな中、悩みをきっかけに出会い直し、関係性を深め、繋がり信頼し合うことでママたちに活力が生まれる。</p> <p>3 ママたちの力を地域資源として活かす仕組みづくり ママの悩みが解消されていけば、親子関係はよりよくなり、ママ同士の仲間作りの交流が広がれば孤独も解消されチャレンジ精神も育まれる。地域のママの力を活かすまちづくりにつなげることができる。</p> <p>4 平塚定住促進のための平塚ママの魅力を市内外の子育て世帯へPR 上記3つの目的を達成するための場作りについてのプロセスや様相をSNSを通じて発信する。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>【前期】 7月25日(土)10:00~12:00(会場アソビエカフェ) 参加者 大人2人 子ども2人 「出産アフターからの身体の変化とケア」 講師 助産院Luna Luna 助産師 山西朋子さん 女性のデリケートゾーンのケア、出産後の体のケア、理想の月経、出産、閉経などの知識を共有しながら参加者の悩みをシェア。</p> <p>8月29日(土)10:00~12:00(会場アソビエカフェ) 参加者 大人5人 子ども2人 「サクッとわかる ママのお財布管理術」 講師 ライフプランナー 河西賢二郎さん 今、家族に必要なマネープランとは？老後に備えるために何をすべきか、長期分散投資など（講師はWebex使用を使用して都内から中継）</p> <p>9月26日(土)10:00~12:00(会場アソビエカフェ) 参加者 大人2人 子ども1人 「じぶんのミカタを見つける子育てエコマップ」 講師 NPO法人未来経験プロジェクト 堤園子さん 子育てを手助けしてくる人とその人との心との距離をマップに落とし込み、子育ての現状把握、改めて人間関係を見つめ直し、孤独な子育てにならないように工夫する方法をみんなでシェア</p> <p>【後期】 1月30日(土)10:00~12:00 平塚市民活動センター 参加者 大人5人 子ども2人 「生理のお話会」生理を楽しむ女になる 講師 看護師セラピスト 竹田幸恵さん ワークショップを通じて自分の生理のタイプを知る。出産などを経て変化する女性のホルモンバランスなど専門的な知識を得、身体からのサインを見つめ直す。</p> <p>2月20日(土)10:00~12:00 平塚市民活動センター 参加者 大人5人 「ママにもできる副業のための豆知識」 講師 行政書士佐藤誠事務所代表 佐藤誠さん 働き方改革や大手企業が解禁したことで注目されている副業を、もっとみじかな視点で知る勉強会。税金や事業届け、確定申告などの不安疑問を解決。</p> <p>3月13日(土)10:00~12:00 ぶどう畑の散歩道 参加者 大人6人 こども3人 講師 ヴェールダンサー 尾崎美穂さん シルクでできたヴェールを使った親子でできるワークショップ。室内でも体験でき、親子の触れ合いや心と体のデトックスを行う。</p>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>コロナ禍のため、会場とリモート配信のハイブリットでの開催となったが、双方に参加者があり、効果的な形での開催ができた。子育てイベントだけでなく、ほとんどのイベントが中止となる中で、より一層子育てに関する不安や社会からの孤立を抱えている方も多く、「楽しみと心の支えとなった」という声も多かった。</p> <p>また、平塚市を中心に地元の人材を講師に迎えたことで、「地域に頼れる人」が増えたことも効果のひとつとしてある。デリケートなテーマを専門家に学ぶ機会ができるだけでなく、ママ同士、講師同士のふれあいもでき、毎回の学びが各々の新しいチャレンジにつながることができ、未来へのつながりもできた。</p> <p>継続的な開催を望む声も多く、生まれたつながりを発展させて、今後の活動のひとつとして検討していきたい。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>コロナ禍のため来場の制限などを考えていたこともあり、募集が消極的だった。平塚市の協力で、公共機関などにチラシを配架できたが、プレスリリースなどを作成し、メディアにもこの事業をPRすべきだった。</p> <p>保育を各自にお願いしたため、子どもがクズるなど話に集中できない場面があり保育者を用意する必要を感じた。</p> <p>メンバーの増員、組織の安定化を目指したい。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>引き続き、地元の人材を活用したワークショップを開催していきたい。</p> <p>また、子育てに優しい場所、店、人、団体などをママがレポートする ひらつかmamap（仮）（webと紙）の制作を検討している。</p> <p>ママたちが、取材力、筆力、発信力や写真、動画などの制作をプロから学び、アウトプットする場を作り、地元ママ同士の交流だけでなく、リアルな声の発信で移住、定住化をサポートするものとしたい。</p>

活動・事業の収支決算書

事務局記入欄	発展コース補助割合確認 <input type="checkbox"/>
--------	--------------------------------------

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

①	項目	収入		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
		予算額 (円)	決算額 (円)		
	補助金	100,000	100,000	0	平塚市市民活動推進補助金
	参加費	6,000	1,400	-4,600	リアル参加者合計14名×100円 (前期8名、後期6名)
	団体資金	0	803	803	団体資金から充当
	収入合計	A 106,000	B 102,203	B-A -3,797	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度額 円
②	項目	支出		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
		予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円) 補助対象経費 (円) (うち補助金額)		
	講師謝金	60,000 (60,000)	59,000 (59,000)	-1,000	講師謝金10,000円×2名(前期)、13,000円×3名(後期)
	チラシ作成費	30,000 (30,000)	29,742 (29,740)	-258	チラシ作成費 (デザイナー1名 10,000円×2) 印刷費 (前期2,000部 4,308円 後期2,500部 5,434円)
	会場費	5,000 (5,000)	4,000 (4,000)	-1,000	会場費使用費4,000円(ぶどう畑の散歩道1,000円×4時間)
	雑費	5,000 (5,000)	4,567 (4,440)	-433	消毒品1,682円 (除菌スプレー、消毒液、手洗いハンドウォッシュ) 事務用品1,784円(コピー用紙、封筒、ボールペン、ファイル) プリンターインク1,101円
	茶菓子代	6,000 (0)	2,074 (0)	-3,926	交流促進のための茶菓子購入費
	通信費	0 (0)	2,820 (2,820)	2,820	レターパック620円 コロナ対策によるチラシ郵送のため ZOOM利用料2,200円 コロナ対策によるオンライン開催のため ※コロナ対策費として、事務局事前確認済み
	支出合計	C 106,000 (100,000)	D 102,203 (100,000)	D-C -3,797	
③収支決算額 B 102,203 円 - D 102,203 円 = 0 円					【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

ママスク報告書 前期



「出産アフターからの身体の変化とケア」
助産院だからこそできる深いお話にママも関心



「サクッとわかる ママのお財布管理術」
NISA、IDECO、教育資金から老後のことまで！



「じぶんのミカタを見つける
子育てエコマップ」
子育てを応援してくれる
人を探そう



主催 ママぎゅっと (mamagyuuutto)

ママスク報告書 後期



12

「生理のお話会」生理を楽しむ女になる
話題にしにくい生理のお話。「娘さんの
ために正しい知識を」と意欲的。



「ママにもできる副業のための豆知識」
オンラインでも質問がいっぱい！
副業への関心の高さが伺えます



シルクでできたヴェールを使った親子で
できるワークショップ。
子どもたちもリラックスして楽しんでい
ました。



主催 ママぎゅっと (mamagyuuutto)

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会	
2 事業名	吉沢八景活用事業～トンボの里づくり～	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ <u>発展コース</u>	45万円
4 実施期間	(開始期日) 令和2年4月1日 ～ (完了期日) 令和3年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>当協議会では、平塚市の西部丘陵地域に位置する吉沢地区に広がる、日本の原風景とも言える美しい里地里山の景観を後世に残し育むために、東京農業大学、東海大学、平塚市と連携し「吉沢八景選定プロジェクト」を立ち上げ、平成27年11月に「吉沢八景」を選定し、平成28年1月に公表した。</p> <p>吉沢八景を通じて吉沢地区を平塚市内外の多くの人々に知ってもらおうべく、散策コース周辺の整備やガイドブック等による情報発信を行っているが、平成30年に新たに「トンボの里づくり」を企画した。以前、吉沢地区でたくさん見られたトンボを復活させ、来訪者が乱舞するトンボとたわむれながら吉沢地区を散策し、豊かな自然や歴史を満喫することを期待するもの。</p> <p>令和元年、吉沢八景の散策路沿いの湿地にトンボ池を試験施工。この池は地面に穴を掘り湧水を溜めた簡易的な造りだが、今回、市民活動推進補助金でトンボ池を含めた周辺を整備し、観光及びトンボ生育の拠点構築を目指す。</p> <p>拠点ができることで、平塚市内外から吉沢地区にたくさんの人が訪れる動機付けとなり、吉沢八景とトンボの連携により、吉沢地区が里地里山の恵みを受受できる場として広く認識されることを期待する。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>① 獣害対策のための柵・門扉の設置 過去のモニタリングにより、トンボ池周辺でイノシシやノウサギなど多数の害獣を確認。整備したトンボ池・木道の獣害を防止するためネット柵を設置。散策路から木道へと進む出入口には門扉を設置（3箇所）し、散策路沿いは訪問者の転倒防止のため、ネットの端を固定する杭を設置した。</p> <p>② 散策者がトンボ池へ気軽に訪れるための木道の整備 試験施工した3箇所のトンボ池周辺は湿地であるため、散策路とトンボ池を結ぶアプローチ路として木道を整備した。</p> <p>③ トンボ池の修景・水の維持を目的とした擬木土留めの設置 トンボ池は、散策や観察等で多くの人々の目に留まるため、水の維持も兼ねて池の周囲を擬木土留めで囲う修景を行った。</p> <p>④ トンボ池の管理のためのベンチストッカー（ベンチ型の倉庫）の購入 トンボ池の維持のため必要な作業道具（スコップ、鎌等）をトンボ池周辺に保管するため、ベンチストッカーを購入した。ベンチとして作業や散策者の休憩の場としても機能させる。</p>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最初の整備活動（2020年10月26日）と2回目の整備活動（2021年3月17日）に依り修景した池の水が保たれることが確認できた。 2. 最初の池に、幾種類かのトンボのヤゴの生育が確認された。 3. 着地型観光事業「ゆるぎの里での焼き芋体験」において、参加者親子にトンボの池整備場所を実際に見てもらい、活動をアピールすることができた。 4. 最初の整備活動では、事前に組み立てた擬木土留めと横板を現地でハンマーで打ち込んだところ、ばらばらになってしまったので、2回目の整備作業では、個別に運んで無駄な作業を省くことができた。 5. 同様に木道用板材も組み立てて複数人数で運搬したが、コロナ禍も考慮して2回目の整備作業では、一人が1本ずつ運搬した。 6. 3回目の整備活動（2021年3月30日）により、出入口の扉の残り2箇所と3箇所目の池の土留めを設置した。
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今般のコロナ禍での整備作業では、参加者の3密に十二分に注意した作業となり時間がかかった。 2. 今後もコロナ禍において、万全な注意をして整備作業を行いたい。 3. 以降、維持管理をしなければならない。協議会のメンバーだけでは難しく、ある程度ボランティアを集めたいと思料するが、コロナ禍が収束しないと募集は難しいと考える。 4. 一方、その方法、維持管理体制について検討していきたい。
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>コロナ禍の収束が条件となるが、下記を行いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年2回のワークショップを開催しての管理活動（草刈り、設備の改修・補修等）。 2. 協議会役員中心のボランティアによる里山整備活動の継続。 3. 吉沢地区の小中学生の体験学習の場としてのトンボ池の活用。

活動・事業の収支決算書

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

①	項目	予算額 (円)		決算額 (円)		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)		
収 入	補助金	450,000		450,000		0	平塚市市民活動推進補助金		
	当協議会積立金	130,000		119,946		-10,054	会計残高 (前年度繰越金) より拠出		
	支援金	85,000		72,976		-12,024	活動の賛同者からの支援金 (寄付又は一部費用の負担、資材等の寄贈)		
	収入合計	A	665,000	B	642,922	B-A	-22,078	発展コース：補助対象経費 642,922 円 × 70 % = 450,045 円 補助限度額 450,000 円	
②	項目	予算額 (円)		決算額 (円)		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)		
		(うち補助金額)		(うち補助金額)					
支 出	獣害対策用ネット 購入費	102,000 (102,000)	107,140	107,140 (80,960)	5,140	ネット本体 [幅30m、2巻] + 支柱 [20本] + 支柱キャップ [50個] + ネット固定ピン [100個] + 転倒防止用木杭 [20本]			
	獣害対策用門扉購入 費	114,000 (114,000)	56,103	56,103 (21,932)	-57,897	ガルバリウム波板 [幅1.82m×幅0.6m6枚]、ボルトナット、木杭 [60Φ×1.5m、6本]、枠用木材 [32×82×1.82m、12本] 他			
	木道整備用資材購入 費	202,000 (72,000)	266,143	266,143 (254,508)	64,143	木道用板材 [長さ1.8m48枚]、板材固定用杭 [64本]、板材固定用ビス [2箱]、保護塗料 [1缶] + 塗料塗布用刷毛 [2本] 他			
	土留め購入費	125,000 (40,000)	91,720	91,720 (42,220)	-33,280	横板 [長さ約1.5m×幅0.2m30枚]、土留め杭 [60本]			
	管理用備品購入費	53,000 (53,000)	46,246	46,246 (0)	-6,754	ハンマー [6本] + スコップ [8本] + コンビマット (泥落とし) [3枚] 他			
	備品保管用ベンチ ストッカー購入費	69,000 (69,000)	75,570	75,570 (50,380)	6,570	ベンチストッカー [長さ約1.4m×高さ約0.46m×高さ0.485m、3基]			
		()		()					
		支出合計	C	665,000 (450,000)	D	642,922 (450,000)	D-C	-22,078	
③収支決算額		B	642,922 円	-	D	642,922 円	=	0 円	【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

トンボの里の整備活動⑥ 2020年10月26日(月)

材料の積み込み



木道用板材の設置



擬木土留めの運搬



擬木土留めと板材の設置



トンボの里の整備活動② 2021年3月17日(水)

材料の運搬



獣害対策ネットの準備



獣害対策用門扉の設置



木道の組立て



木道の固定



土留めの設置



トンボの里の整備活動⑨ 2021年3月30日(火)

出入口の門扉の設置状況



トンボ池の修景状況



ベンチストッカーと道具

